

分類：臨床医学アドバンスコース

授業科目名：脳神経外科学（Update On New Technology In Clinical Neurosciences） - 臨床神経科学における最新テクノロジーの進歩

対象学年：4年次選択

時間割コード：71604012

開設学期等：第13週～第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

清水宏明（教授、脳神経外科学講座、6140、オフィスアワー：8:00-17:00）

2. 担当教員

清水宏明（教授、脳神経外科学講座、6140、オフィスアワー：8:00-17:00）

高橋和孝（講師、脳神経外科学講座）

高橋佑介（助教、脳神経外科学講座）

小野隆裕（助教、脳神経外科学講座）

富樫俊太郎（助教、脳神経外科学講座）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

臨床神経科学において、近年IT技術の進歩により、高度な先端機器が開発されている。

この実習を通して、実際に体験し、神経科学への興味を深める。

到達目標（SBOs）

(1) 脳波の原理と測定法を理解し、システムの概略を説明できる。

(2) 誘発電位の原理と測定法を理解し、システムの概略を説明できる。

(3) 脳磁図の原理を理解し、測定システムの概略を説明できる。

(4) fMRI・fPETの原理を理解し、測定システムの概略を説明できる。

(5) 神経機能の術中モニタリング法を理解し、臨床応用について説明できる。

(6) コンピューターナビゲーション手術システムの原理を理解し、臨床応用を説明できる。

(7) 関連するプロフェッショナルリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療法（医療制度）について説明できる。

4. 教科書・参考書

児玉南海雄 監修：標準脳神経外科学（医学書院）

太田 富雄 編集：脳神経外科学（金芳堂）

田崎 義昭 著：ベッドサイドの神経の診かた（南山堂）

山浦 昌 編集：脳神経外科手術アトラス（医学書院）

Albert L. Rhoton 著：RHOTON Cranial anatomy and surgical approaches 南江堂

宜保浩彦ら 編集：臨床のための脳局所解剖学

5. 成績評価の方法

実習の実施状況で評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

実習開始までに講義内容を復習してくることを。

実習初日は8:20までに第1病棟4Fカンファレンスルームに集合すること。

学生の集合を待ってカンファレンスを開始することはしない。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月4日 (月)	1-2 時限	実習	テーマ：オリエンテーション	富樫俊太郎	
2	7月4日 (月)	3-6 時限	実習	テーマ：カンファレンス、手術見学、病棟実習	高橋和孝 高橋佑介 小野隆裕 富樫俊太郎	
3	7月4日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：脳神経外科の実際	清水宏明	
4	7月4日 (月)	9-10 時限	全体討議	テーマ：全体討議、実習の内容確認、質疑応答	富樫俊太郎	
5	7月5日 (火)	1-6 時限	実習	テーマ：カンファレンス、症例検討会、手術見学、血管内治療	高橋和孝 高橋佑介 小野隆裕 富樫俊太郎	
6	7月5日 (火)	7-8 時限	実習	テーマ：定位放射線治療	高橋和孝 高橋佑介	
7	7月5日 (火)	9-10 時限	実習	テーマ：顕微鏡実習、ハンズオンセミナーなど	高橋和孝 高橋佑介 小野隆裕 富樫俊太郎	
8	7月6日 (水)	1-6 時限	実習	テーマ：カンファレンス、症例検討会、手術見学	高橋和孝 高橋佑介 小野隆裕 富樫俊太郎	
9	7月7日 (木)	7-8 時限	講義	テーマ：血管内治療の実際	高橋佑介	
10	7月7日 (木)	9-10 時限	全体討議	テーマ：実習総括	富樫俊太郎	